

# 国民所得と経済成長



## (i) フローとストック

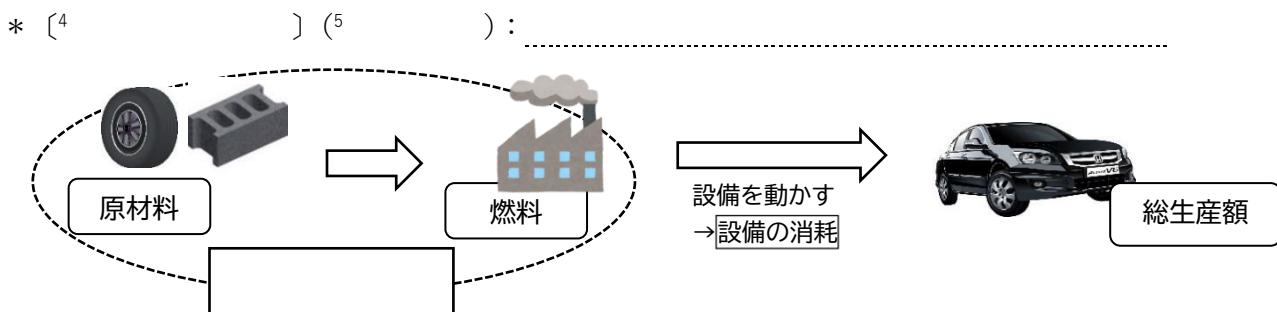
私たちが学力を測りたい時は、「偏差値」を使う。体力を測りたい時は「持久走のタイム」を使う。では、経済力を測る時は何を使うのだろう？経済活動の規模や変化を測る指標を紹介する。

- [<sup>1</sup>] : 長い期間にわたって蓄積された富の量 ※国全体で蓄積された富 = [<sup>3</sup>]
- [<sup>2</sup>] : 一定期間に生み出された富の量

## (ii) 国民経済の活動水準

個別の企業業績を見るだけでは、国民経済全体が上手く行っているかは不透明である。

国全体の活動水準を数値化したものが、GDP や GNP といったフローの指標である。



例えば、中間生産物 150 万円で 1 台の車を生産し、500 万で売ったとする。その場合、差額の 350 万円のことを [<sup>6</sup>] という。経済力を比較する際、この GDP が一般的に用いられているが、国民一人の平均的豊かさを示す場合には、GDP を人口で割った**一人あたり GDP** も用いられることが多い。

- \* [<sup>7</sup>] (<sup>8</sup>) :
- 国内での生産に加えて、海外の利益も加える。国内に限定せず、国民全体の生産力を示す。

- \* [<sup>9</sup>] (<sup>10</sup>) :
- 機械などの設備は消耗するため、設備の更新費やメンテナンス代をあらかじめ計算に含める。

- \* [<sup>11</sup>] (<sup>12</sup>) :
- 国民純生産から政府が関わる収支を取り除き、最終的に残るものを示す。

### +α GDP ランキングの上位国は...?

#### ▣ GDP ランキング(2022 年:兆ドル)

① [	]	25.3	⑥ [	]	2.9
② [	]	19.9	⑦ [	]	2.2
③ [	]	4.9	⑧ [	]	2.0
④ [	]	4.2	⑨ [	]	1.83
⑤ [	]	3.5	⑩ [	]	1.82

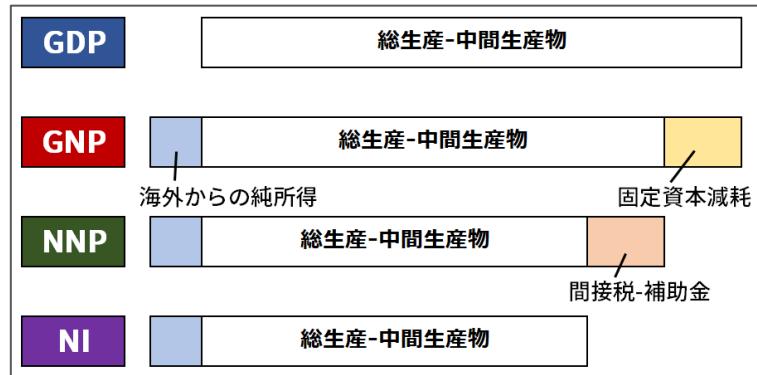
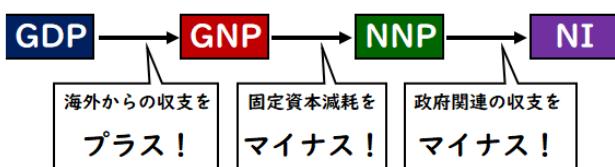
#### ▣ 一人あたり GDP(2021 年:万ドル)

① ルクセンブルク	13.6
② アイルランド	10.0
③ スイス	9.2
④ ノルウェー	8.9
⑤ シンガポール	7.2

★大学入試レベルであれば、多くの場合

この4パターンの指標が出題される。

GDP→GNP→NNP→NI の順番を固定して、繋げて暗記する方法が最もシンプル！



### +α 国の豊かさはお金以外でも表せる！

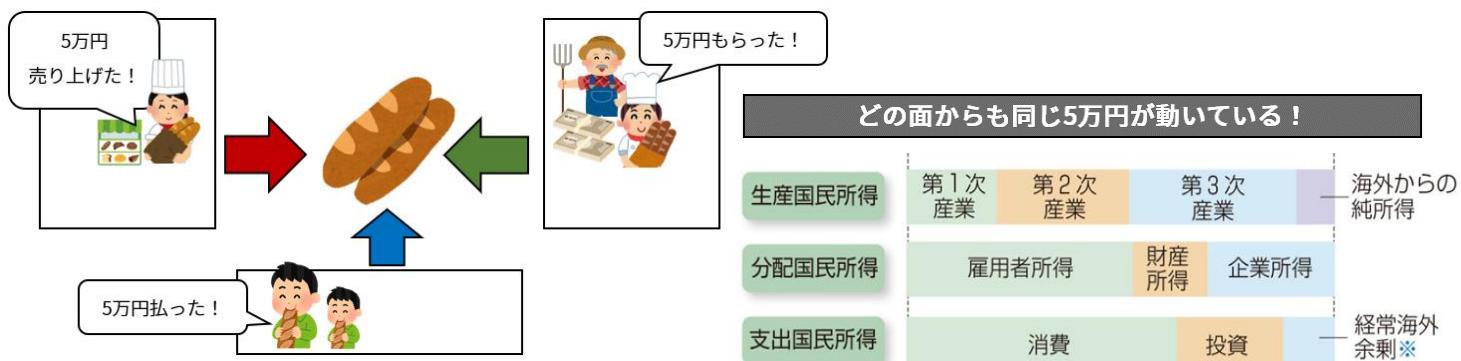
上で紹介した GDP や GNP は、あくまでも市場で取引される財やサービスを集計したものに過ぎない。

しかし、国の豊かさはお金だけではないはずだ。その考え方から生まれた指標をいくつか紹介する。

- **人間開発指数(HDI)** … 国連開発計画(UNDP)が定めた、生活水準を数値化したもの
- **国民純福祉(NNW)** … GNP から余暇や家事労働を加え、環境悪化などの損失を差し引いたもの
- **グリーン GDP** … 自然環境を資源として捉え、環境破壊により失われた分を差し引いて求める指標

### ■ 三面等価の原則

これらは生産面から算出したものであり、他にも \_\_\_\_\_ の面から捉えることができる。  
視点が異なるだけで、それぞれの大きさは等しくなる。 = [<sup>13</sup> ]



### (iii) 経済成長と景気変動

■ [<sup>14</sup>] : どのくらい経済が成長したのかを、GDP の増加率で測定したもの。

※純粋な数字だけを比較して成長率を測るのを [<sup>15</sup>] 経済成長率、

物価の変動分を考慮し、実質的な経済成長を算出するものを [<sup>16</sup>] 経済成長率という

### +α 経済成長率の推移は頻出！

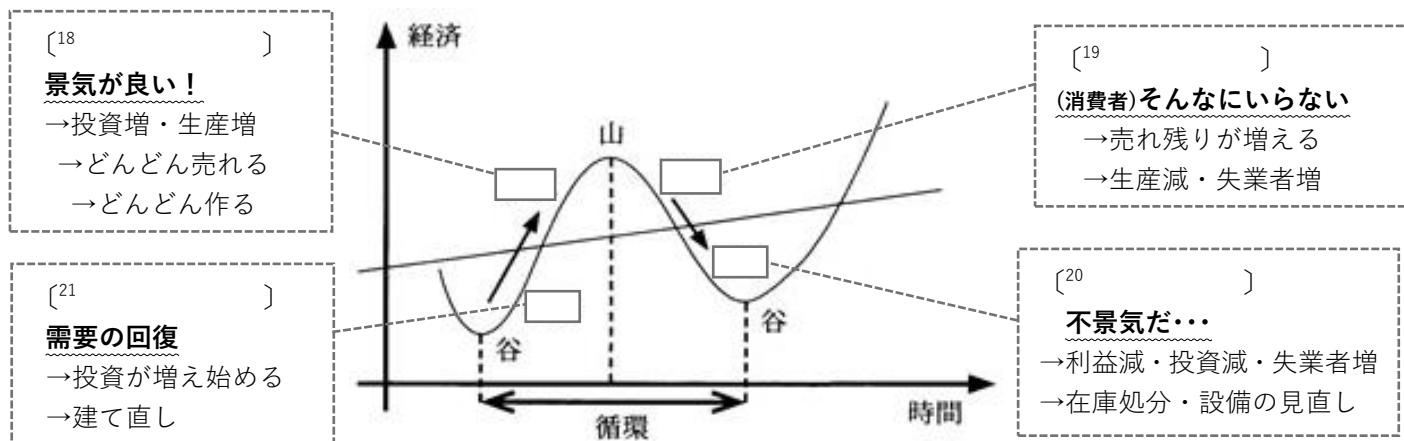
戦後から現在までの経済成長率の推移を示したグラフは頻出である。

- ①高度経済成長期：年平均 10%超の急成長
- ②石油危機(1973)：戦後初のマイナス成長
- ③安定成長期(80 年代)：年平均 5 %の成長期
- ④失われた 10 年(90 年代)：稀にみる低成長期
- ⑤リーマンショック(2010 年前後)：世界同時不況の煽りを受け、大きな不況期へ



## ■ 景気変動 … 経済は、好景気と不景気が交互におこる。

こうした動きは周期的な繰り返しが見られることから、〔<sup>17</sup>〕とも呼ばれる。



※景気変動にも種類があるとして、経済学者が提唱したものがある。

以下の表を参考に。人物と周期の長さをそれぞれ併せて覚えよう。

形態	周期	要因
の波	約40か月	在庫投資の増減
の波	約10年	設備投資の増減
の波	約20年	建設投資の増減
の波	約50年	技術革新の発生

### ★覚え方

名前の音の長さ順=周期の長さ順

## (iv) 物価と国民生活

経済状況により、物価が上下することもある。

- 〔・持続的に上昇する現象 → [<sup>22</sup>]〕
- 〔・持続的に下落する現象 → [<sup>23</sup>]〕

## ■ インフレーションの要因

(1) [<sup>24</sup>] (需要インフレ) [例] 流行による品薄状態、プレミア品のオークション  
…景気が過熱気味になり、需要が供給を大きく上回ることにより物価が上昇する

(2) [<sup>25</sup>] (供給インフレ) [例] 原材料の高騰、原油価格の高騰  
…供給側の原因で起こるもの。生産コストの上昇により物価が上昇する

## ■ インフレーションの種類

- (1) **クリーピング・インフレ** (しのびゆるインフレ) … 年率数%程度で物価がじわじわ上昇する
  - (2) **ギャロッピング・インフレ** (駆け足のインフレ) … 年率数十%程度で物価が急上昇する
  - (3) **ハイパー・インフレ** (超インフレ) … 第一次世界大戦のドイツのような異次元な急上昇
- ※ **スタグフレーション** (停滞+インフレ) … 不況と物価高騰が同時に発生すること

## ■デフレーションの種類

・ [<sup>26</sup>

] …デフレにより物価が下落し、企業の生産が鈍り、売上げの減少が所得減少を招き、さらなる需要減少へ…という悪循環のこと

### Think○ 物価上昇は経済にとってプラスか？

2022年は、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安などの影響を受け、多くの企業で値上げが行われた。この1年での消費者物価上昇率は13.12%となり、ここ数年では特に大きな変化であった。

物価が上がることは経済全体にとってプラスだろうか？それともマイナスだろうか？

( プラスの影響 )

・

・

( マイナスの影響 )

・

・

	平均月給	ノート	チョコレート(100g)	マックのハンバーガー
1960年	24,000円	20円	100円	?
1980年	257,000円	96円	223円	180円
2000年	398,000円	129円	191円	68円
2010年	360,000円 ↗	144円 ↗	160円 ↗	100円 ↗
2022年	384,000円 ↗	185円 ↗	258円 ↗	150円※ ↗

※ハンバーガーは2022年3月～130円、9月～150円、2023年1月～170円と値上げが続いている。

70年代の原油価格高騰や、80年代後半のバブル景気により、物価上昇の傾向が見られた。

2000年代はデフレが進んだ時期もあり、マクドナルドのように大幅な値下げを実施した企業もある。

近年の物価上昇は原材料の高騰によるもの。輸出に頼っている原油や小麦に関連する商品を中心に、多くの製品が値上げ傾向にある。この状況で政府ができることは何だろうか…？

### Topic 図 ドイツで発生したハイパーインフレ

第一次世界大戦で敗れたドイツは、イギリスやフランスへの賠償金の支払いを科せられた。

この返済のためにドイツ政府が大量に紙幣を発行した結果、

お金の価値は下落し、急激に物価が上昇した。

正常な経済成長では、物価が年平均2～3%ずつ上昇するといわれているが、

この時は1914年で0.32ダラルだったパンが、1923年には3990億ダラルになる

という異次元のインフレを起こした。(約1兆倍) 当然ドイツ経済は混乱に

陥ったが、新たな貨幣の創設により奇跡的な経済回復を実現させた。



# 国民所得と経済成長



## (i) フローとストック

私たちが学力を測りたい時は、「偏差値」を使う。体力を測りたい時は「持久走のタイム」を使う。では、経済力を測る時は何を使うのだろう？経済活動の規模や変化を測る指標を紹介する。

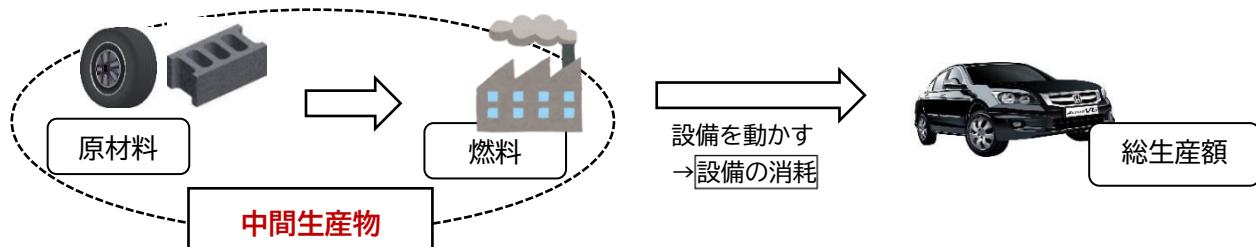
- [<sup>1</sup> **ストック**]：長い期間にわたって蓄積された富の量 ※国全体で蓄積された富 = [<sup>3</sup> **国富** ]
- [<sup>2</sup> **フロー**]：一定期間に生み出された富の量

## (ii) 国民経済の活動水準

個別の企業業績を見るだけでは、国民経済全体が上手く行っているかは不透明である。

国全体の活動水準を数値化したものが、GDP や GNP といったフローの指標である。

- \* [<sup>4</sup> **国内総生産**] (<sup>5</sup> **GDP**) : **総生産額** — **中間生産物**



例えば、中間生産物 150 万円で 1 台の車を生産し、500 万で売ったとする。その場合、差額の 350 万円のことを [<sup>6</sup> **付加価値**] という。経済力を比較する際、この GDP が一般的に用いられているが、国民一人の平均的豊かさを示す場合には、GDP を人口で割った**一人あたり GDP** も用いられることが多い。

- \* [<sup>7</sup> **国民総生産**] (<sup>8</sup> **GNP**) : **GDP** — 海外からの純所得

→ 国内での生産に加えて、海外の利益も加える。国内に限定せず、国民全体の生産力を示す。

- \* [<sup>9</sup> **国民純生産**] (<sup>10</sup> **NNP**) : **GNP** — 固定資本減耗

→ 機械などの設備は消耗するため、設備の更新費やメンテナンス代をあらかじめ計算に含める。

- \* [<sup>11</sup> **国民所得**] (<sup>12</sup> **NI**) : **NNP** — (間接税 — 補助金)



## +α GDP ランキングの上位国は...?

### □ GDP ランキング(2022 年:兆ドル)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ① [ <b>アメリカ</b> ] 25.3 | ⑥ [ <b>イギリス</b> ] 2.9  |
| ② [ <b>中国</b> ] 19.9   | ⑦ [ <b>フランス</b> ] 2.2  |
| ③ [ <b>日本</b> ] 4.9    | ⑧ [ <b>カナダ</b> ] 2.0   |
| ④ [ <b>ドイツ</b> ] 4.2   | ⑨ [ <b>ブラジル</b> ] 1.83 |
| ⑤ [ <b>インド</b> ] 3.5   | ⑩ [ <b>ロシア</b> ] 1.82  |

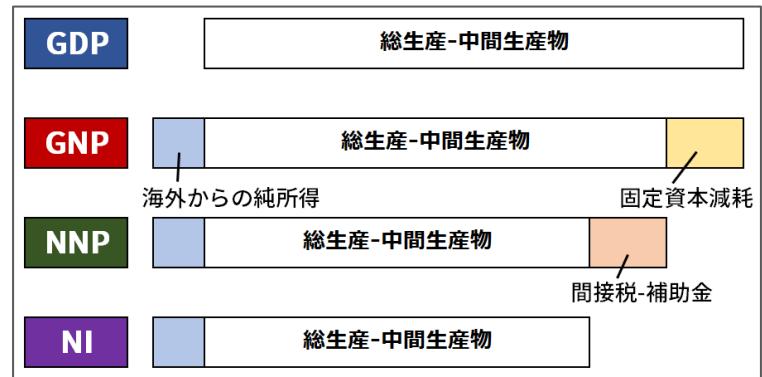
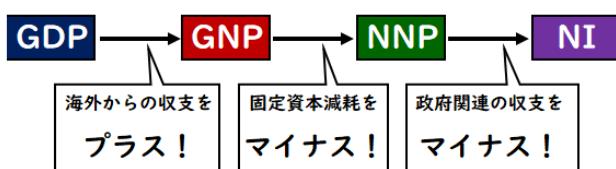
### □ 一人あたり GDP(2021 年:万ドル)

- |                |
|----------------|
| ① ルクセンブルク 13.6 |
| ② アイルランド 10.0  |
| ③ スイス 9.2      |
| ④ ノルウェー 8.9    |
| ⑤ シンガポール 7.2   |

★大学入試レベルであれば、多くの場合

この4パターンの指標が出題される。

GDP→GNP→NNP→NI の順番を固定して、繋げて暗記する方法が最もシンプル！



### +α 国の豊かさはお金以外でも表せる！

上で紹介した GDP や GNP は、あくまでも市場で取引される財やサービスを集計したものに過ぎない。

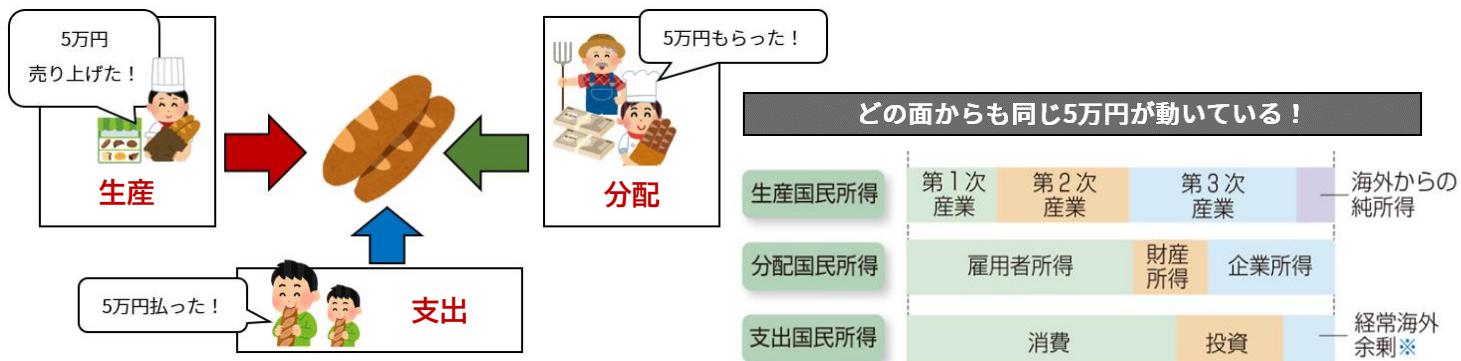
しかし、国の豊かさはお金だけではないはずだ。その考え方から生まれた指標をいくつか紹介する。

- **人間開発指数(HDI)** … 国連開発計画(UNDP)が定めた、生活水準を数値化したもの
- **国民純福祉(NNW)** … GNP から余暇や家事労働を加え、環境悪化などの損失を差し引いたもの
- **グリーン GDP** … 自然環境を資源として捉え、環境破壊により失われた分を差し引いて求める指標

### ■ 三面等価の原則

これらは生産面から算出したものであり、他にも **分配** ・ **支出** の面から捉えることができる。

視点が異なるだけで、それぞれの大きさは等しくなる。= [<sup>13</sup> **三面等価の原則** ]



### (iii) 経済成長と景気変動

- [<sup>14</sup> **経済成長率**] : どのくらい経済が成長したのかを、GDP の増加率で測定したもの。

※純粋な数字だけを比較して成長率を測るのを [<sup>15</sup> **名目**] **経済成長率**、

物価の変動分を考慮し、実質的な経済成長を算出するものを [<sup>16</sup> **実質**] **経済成長率**という

### +α 経済成長率の推移は頻出！

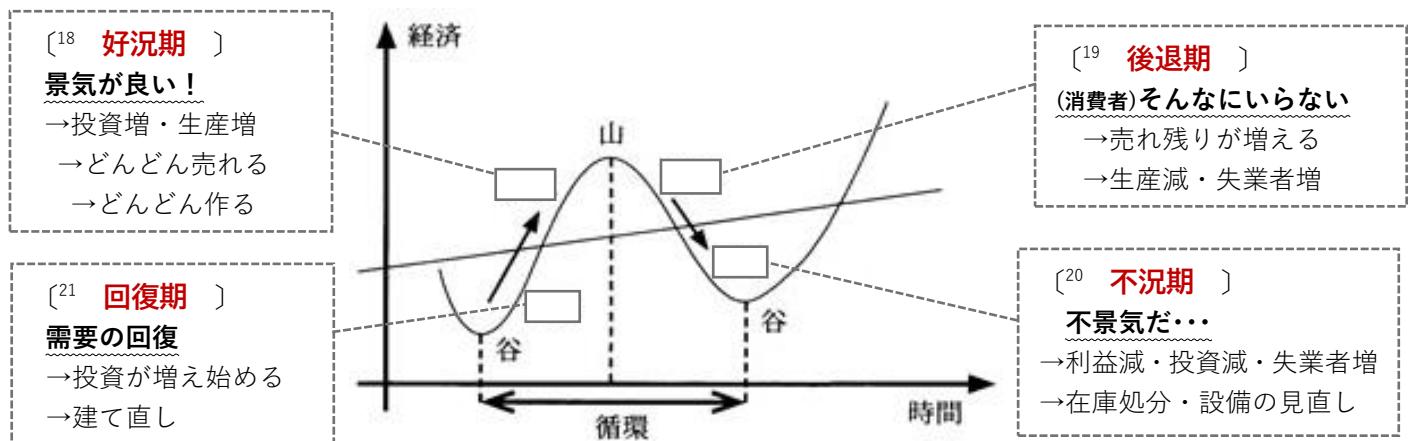
戦後から現在までの経済成長率の推移を示したグラフは頻出である。

- ①**高度経済成長期**：年平均 10%超の急成長
- ②**石油危機(1973)**：戦後初のマイナス成長
- ③**安定成長期(80 年代)**：年平均 5 %の成長期
- ④**失われた 10 年(90 年代)**：稀にみる低成長期
- ⑤**リーマンショック(2010 年前後)**：世界同時不況の煽りを受け、大きな不況期へ



## ■ 景気変動 … 経済は、好景気と不景気が交互におこる。

こうした動きは周期的な繰り返しが見られることから、〔<sup>17</sup> 景気循環 〕とも呼ばれる。



※景気変動にも種類があるとして、経済学者が提唱したものがある。

以下の表を参考に。人物と周期の長さをそれぞれ併せて覚えよう。

形態	周期	要因
キチンの波	約40か月	在庫投資の増減
ジュグラーの波	約10年	設備投資の増減
クズネツの波	約20年	建設投資の増減
コンドラチエフの波	約50年	技術革新の発生

### ★覚え方

名前の音の長さ順=周期の長さ順

## (iv) 物価と国民生活

経済状況により、物価が上下することもある。

- 〔・持続的に上昇する現象 → [<sup>22</sup> インフレーション ]
- 〔・持続的に下落する現象 → [<sup>23</sup> デフレーション ]

### ■インフレーションの要因

- (1) [<sup>24</sup> ディマンド・プル・インフレ ] (需要インフレ) [例] 流行による品薄状態、プレミア品のオークション  
…景気が過熱気味になり、需要が供給を大きく上回ることにより物価が上昇する
- (2) [<sup>25</sup> コスト・プッシュ・インフレ ] (供給インフレ) [例] 原材料の高騰、原油価格の高騰  
…供給側の原因で起こるもの。生産コストの上昇により物価が上昇する

### ■インフレーションの種類

- (1) クリーピング・インフレ (しおびよるインフレ) …年率数%程度で物価がじわじわ上昇する
  - (2) ギャロッピング・インフレ (駆け足のインフレ) …年率数十%程度で物価が急上昇する
  - (3) ハイパー・インフレ (超インフレ) …第一次世界大戦のドイツのような異次元な急上昇
- ※ スタグフレーション (停滞+インフレ) …不況と物価高騰が同時に発生すること

## ■デフレーションの種類

- ・[<sup>26</sup> デフレスパイral] …デフレにより物価が下落し、企業の生産が鈍り、売上げの減少が所得減少を招き、さらなる需要減少へ…という悪循環のこと

### Think 物価上昇は経済にとってプラスか？

2022年は、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安などの影響を受け、多くの企業で値上げが行われた。この1年での消費者物価上昇率は13.12%となり、ここ数年では特に大きな変化であった。物価が上がることは経済全体にとってプラスだろうか？それともマイナスだろうか？

- ( プラスの影響 )
- ・ローンを借りている人は返済負担が軽くなる
  - ・企業の売り上げ単価は上昇する

- ( マイナスの影響 )
- ・年金などの固定金額を受給している人は、生活水準が下がる
  - ・預貯金などの金額が決まっている資産の価値が低下する
  - ・固定費が増加し、生活が苦しくなる

	平均月給	ノート	チョコレート(100g)	マックのハンバーガー
1960年	24,000円	20円	100円	?
1980年	257,000円	96円	223円	180円
2000年	398,000円	129円	191円	68円
2010年	360,000円 ↗	144円 ↗	160円 ↗	100円 ↗
2022年	384,000円 ↗	185円 ↗	258円 ↗	150円※ ↗

※ハンバーガーは2022年3月～130円、9月～150円、2023年1月～170円と値上げが続いている。

70年代の原油価格高騰や、80年代後半のバブル景気により、物価上昇の傾向が見られた。

2000年代はデフレが進んだ時期もあり、マクドナルドのように大幅な値下げを実施した企業もある。

近年の物価上昇は原材料の高騰によるもの。輸出に頼っている原油や小麦に関連する商品を中心に、多くの製品が値上げ傾向にある。この状況で政府ができることは何だろうか…？

### Topic 図 ドイツで発生したハイパーインフレ

第一次世界大戦で敗れたドイツは、イギリスやフランスへの賠償金の支払いを科せられた。

この返済のためにドイツ政府が大量に紙幣を発行した結果、

お金の価値は下落し、急激に物価が上昇した。

正常な経済成長では、物価が年平均2～3%ずつ上昇するといわれているが、

この時は1914年で0.32ダラルだったパンが、1923年には3990億ダラルになる

という異次元のインフレを起こした。(約1兆倍) 当然ドイツ経済は混乱に

陥ったが、新たな貨幣の創設により奇跡的な経済回復を実現させた。

